

## 第7節 人が学び、育ち、高め合うまち

### 1 未来に生きる力を持った子どもを育むまちづくり

#### 基本的な考え方

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。とりわけ、学力の低下やいじめ、不登校、規範意識の低下など様々な問題は、いずれも社会の大きな変化が底流にあると考えられます。

これからの時代を担う子どもたちが、激しい変化が予想される社会で生きていくためには、多岐にわたる能力を身に付けるとともに、豊かな人間性を育てていく必要があります。

一方、核家族化の進行や地域コミュニティのつながりの希薄化などから、家庭や地域の教育力が低下していると言われており、こうした人間関係の変化が子どもたちの成長にも影響を与えていることが懸念されています。

このことから、学校教育においては、学ぶ意欲を高め、基礎・基本の定着から始まる確かな学力や、感性に富み、誇りや自信が持てるような豊かな心、たくましさや生き抜く力を持った健やかな体を育む「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を推進します。また、情報化、国際化、環境問題の深刻化などといった急速に変化する社会の中で生きていくために求められる能力についても、教育の普遍性を見据えながら、地域や学校の特色をいかした教育活動によって対応します。さらには、安全で安心して学べる学校環境や、教育内容の質の向上や教職員の力量形成のための支援体制を整備します。

また、家庭、地域、学校が一体となり、子どもがのびのびと遊び、学べる環境づくりや体験活動の推進などを通じて、子どもたちが健やかに希望を持って成長できるような、人間関係の形成や心の教育の充実を図ります。

#### 政策目標

目指す状態	学校教育の充実や地域ぐるみの教育力の向上によって、未来を自ら切り開いていくために必要な生きる力を持った子どもが育つまち。		
指標項目	現状値(時点)	目標値(H22)	目標値(H26)
子どもたちは充実した学校生活を送っていると感じる市民の割合 (上越市市民の声アンケート)	56.2% (H17)	63.0%	70.0%
子どもの健全育成に関わる地域住民数 (※ 学校支援ボランティア登録者数)	693人 (H19)	802人	975人
未成年者の検挙・補導数	132人 (H18)	109人	91人

## 施策の内容

### 1 学校教育の充実

#### (1) 「知・徳・体」を育む学校教育の推進

- 学習指導要領<sup>102</sup>に示す基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、自ら学び、考え、表現する力を育む教育を推進します。
- 人権問題に関する理解を深め、相互の理解が図れるよう一人ひとりを大切にした教育を推進します。
- 特別な支援を必要とする子ども一人ひとりの教育的ニーズを把握し、自立と社会参加への主体的な取組を目指した特別支援教育を推進します。

#### (2) 特色ある学校教育の推進

- 各学校の主体的な教育活動を支援するため、当市の特色をいかしたカリキュラム<sup>32</sup>の作成や教育センターの機能充実を進めます。
- 社会の変化によって生ずる様々な教育課題に対し、未来への夢や希望につないでいく教育活動とするため、コミュニケーションを大切にしたICT<sup>11</sup>教育や国際化に対応した教育、地球環境を積極的に守ろうとする教育等を推進します。

#### (3) 学校教育環境の充実

- 学校内の安全・防犯対策など適切な管理の徹底を図り、保護者や地域と連携を取りながら、安全・安心で開かれた教育環境を整備します。
- 信頼される優秀な教職員を育成し、力量を培っていくため、研修をはじめとした支援体制を確立します。

### 2 地域の教育力の向上

#### (1) 家庭の教育力の向上

- 家庭におけるしつけのあり方や子どもへの接し方など、親としてあるべき姿を再認識する機会として、子育て講座や親子が共に参加する体験活動等の充実を図り、家庭における教育力の向上に努めます。

#### (2) 子どもの居場所づくりの推進

- 放課後児童クラブ<sup>103</sup>をはじめ、子どもたちが世代を越えて人との関わりを持てるような子どもの居場所づくりや、子育てを地域で支えられるように「地域のネットワークづくり」を支援します。

#### (3) 青少年健全育成の推進

- 青少年の抱える不安や悩みに対する相談・指導体制を充実するとともに、青少年の社会参加と地域活動の促進に向けた自然体験や社会体験などの活動を推進します。

## 2 学びやスポーツを生きがいに高めるまちづくり

### 基本的な考え方

生涯にわたって自ら学び、スポーツやレクリエーション活動を行うことは、新しい技術や知識を習得し、健康づくりやストレス解消、さらには活動を通じて人とのつながりを育むなど、自身の新しい可能性の発見にもつながっていきます。

また、市民一人ひとりがいきいきと活動することは、地域の活力の総体的な向上にもつながります。個々の培ってきた知識や経験、技術をいかしながら地域社会に貢献することは、同時に自己実現を図っていく上でも有意義なことであり、そのようなきっかけづくりとしても、生涯学習やスポーツ活動がますます重要となってきています。

このことから、大学、企業、市民活動団体<sup>36</sup>などとの連携により学習機会の充実を図るとともに、気軽に図書を利用できる環境づくりと読書活動を推進します。

また、市民による自主的な学習活動を支援するため、公民館や地域生涯学習センターをはじめとした施設の有効活用を図りつつ、展覧会や発表会などの学習成果を発表する機会の充実、さらには習得した知識や技術が地域づくりの場面にいかされるよう、今日的課題や実践的なテーマを取り入れた講座内容の充実を図ります。

一方、スポーツ振興については、平成21年のトキめき新潟国体開催を契機として、競技人口の拡大と競技レベルの向上を進めるとともに、スポーツ関連施設の充実を図ります。また、総合型地域スポーツクラブ<sup>104</sup>など、地域に根ざした組織づくりと指導者の育成などを行うことによって、地域で身近にスポーツを楽しむことができ、健康づくりや体力づくりを実践できる環境を整備します。

これらの各種講座やイベントについては、ボランティアの育成や関連サークルなど市民活動団体との連携によって企画・運営を行うとともに、生涯学習やスポーツ活動に関する情報については、多様な情報媒体の活用を通じて一体的で分かりやすい発信を行います。

### 政策目標

目指す状態	多くの市民が学びやスポーツ活動を日常生活に取り入れ、いきいきと活動しているまち。		
指標項目	現状値(時点)	目標値(H22)	目標値(H26)
生涯学習を行う市民の割合 (上越市生涯学習に関するアンケート調査)	40.9%(H17)	60.0%	65.0%
週1回以上スポーツを行う市民の割合 (上越市民の健康と運動・スポーツに関する意識調査)	26.0%(H17)	36.0%	44.0%

## 施策の内容

### 1 生涯学習の推進

---

#### (1) 読書活動の普及推進

- 図書館ネットワークシステムの導入による図書サービスの向上をはじめ、気軽に図書を利用できる環境づくりと読書活動を推進します。

#### (2) 多様な生涯学習機会の提供

- 公民館などの身近な施設の有効活用を図りつつ、様々な今日的課題に対応するため、大学、企業、市民活動団体<sup>36</sup>などと連携し、学習機会の充実を図ります。
- 生涯学習情報ガイドブックの発行など、自ら学ぼうとする市民の学習ニーズに応じた情報提供の仕組みを整えます。

#### (3) 学習成果の活用機会の充実

- 展覧会や発表会をはじめとした学習成果発表の機会の充実や、学習活動で得た知識や技術をいかし、地域社会に貢献できる環境づくりを推進します。

### 2 生涯スポーツの推進

---

#### (1) スポーツ・レクリエーション活動の促進

- 市民の健康づくりや体力づくりを促進する啓発活動を行うとともに、各種スポーツ教室の開催やスポーツ施設の確保、さらには総合型地域スポーツクラブ<sup>104</sup>などの地域に根ざした組織づくりを図ります。

#### (2) スポーツ競技力向上のための環境整備

- 平成21年のトキめき新潟国体開催を契機として、各種スポーツの競技人口の拡大と競技レベルの向上、指導者の育成を図ります。
- 国体開催に向けて万全の体制を整えるため、的確な組織運営やスポーツ関連施設の充実を図ります。

### 3 歴史と伝統に彩られた文化と誇りあふれるまちづくり

#### 基本的な考え方

上越市は、県下最多の指定文化財を有し、雁木に象徴される雪国文化をはじめとして、多彩な歴史と文化が息づく情緒豊かな土地です。この長きにわたり培われてきた歴史と伝統文化は、数多くの先人たちによって形づくられ、私たちに受け継がれたものであり、これらを継承し地域の誇りとして高め、次の世代に引き継いでいくことは、現代に生きる私たちの責務でもあります。

さらに、これらの伝統文化と現代の文化や芸術とが調和し発展していくことは、新たな地域文化の創造につながり、地域に潤いを与え市民の心の豊かさを高め、ひいては地域アイデンティティの形成にもつながります。

このことから、郷土の偉人の顕彰<sup>105</sup>や文化財の保存と継承を図りつつ、未指定の文化財の発掘に努めます。また、教育現場においても、これら文化遺産をはじめとした多様な歴史や文化資源を大切な地域の財産として学ぶことができるよう、文化財情報等のネットワーク化を図るとともに、ふるさとを大切にする教育を推進します。

また、地域の歴史・文化を大切にし、新たな地域文化として育てていく活動を押し進めるとともに、域内外における交流活動を盛んにし、広く国内外に向けても、様々な機会をとらえながら地域の歴史・文化的資源を発信していくことで、その価値や認知度を確かなものとしていきます。

さらには、高い水準の文化・芸術に触れる機会を提供するとともに、文化ボランティアの育成と市民活動団体<sup>36</sup>との連携など、文化・芸術分野におけるネットワークを構築し、市民による創作や研究活動、展示や発表の機会の充実を図ります。

#### 政策目標

目指す状態	市固有の歴史・文化が、まちのアイデンティティや市民の愛着、誇りとして浸透し、次世代に継承される、歴史と伝統に彩られたまち。		
指標項目	現状値(時点)	目標値(H22)	目標値(H26)
市指定文化財件数	305件(H17)	315件	320件
主な文化・芸術関連施設の入館者数 (※ 総合博物館、小林古径記念美術館、上越文化会館)	174,835人 (H18)	180,000人	185,000人
市の歴史的、文化的資源に関する認識度 (上越市市民の声アンケート)	—	50.0%	75.0%

## 施策の内容

### 1 歴史・文化的資源の継承

#### (1) 歴史・文化的資源の保存と継承

- 郷土が生んだ先人たちの偉業や、将来世代に継承すべき重要遺跡や春日山城跡などの歴史的資源について継続的な調査活動を行うとともに、顕彰<sup>105</sup>事業や文化財としての保存活動を行います。
- 歴史・文化的資源の意義について啓発活動を行うとともに、文化財情報のネットワーク構築などによって、教育現場等における地域の学習を支える環境を整備します。

### 2 文化・芸術活動の推進

#### (1) 地域固有の文化活動の推進

- 雁木や町家などに関連する生活文化をはじめ、有形無形の歴史・文化的資源が持つ価値を再認識し、上越市らしさを大切にした地域固有の文化の創造や発展に向けた取組を進めます。
- 地域の歴史・文化を通じた市内外における交流活動を盛んにし、歴史・文化的資源の位置する周辺地域のにぎわいづくりに寄与するとともに、広く国内外に向けても、様々な機会をとらえながら地域の歴史・文化的資源を発信します。

#### (2) 多様な文化・芸術に触れる機会の提供

- 博物館や美術館、文化会館などの教育文化施設における、高い水準の文化・芸術に触れる機会や、姉妹都市交流などを通じた多様な文化に触れる機会を提供します。
- 文化ボランティアの育成や市民活動団体<sup>36</sup>との連携など、文化・芸術分野におけるネットワークを構築し、市民による創作や研究活動、展示や発表の機会の充実を図ります。